

科目名称：	乳児保育Ⅱ	
担当者名：	山本 真里子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
1. 乳児保育Ⅰを踏まえ、乳児保育に必要な知識や技術をさらに習得し保育士となる自覚をもつ。 2. 乳児の生活と保育について講義と演習により具体的に学ぶ。 3. 事例検討やグループ討議により学びを深める。 4. プレゼンテーションなどを行い能動的に学ぶ。 5. 乳児保育をするために必要な教材研究を行い、実際にそれを活用した保育実践力をつける。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 乳児保育Ⅰでの学習を基礎に、0・1・2歳児の保育を担当する保育者として求められる知識や技術の理解を深める。 2. 専門家としての資質をより高めることを目標とする。 3. 乳児保育を担当する保育士として必要な理論や知識・技術の基本を具体的な事例を通して理解する。 4. 広く乳児期（3歳未満児）の発達と保育について学びながら保育士の役割について事例をもとに具体的に理解する。 5. 乳児を集団で保育することについて、保育現場での具体的な課題を、討議しながら考え問題解決の方法を理解する。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	提出課題 (レポート)	提出課題 (プリント・遊具)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		30	30	40	100
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 保育士	《経験年数1》 40年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション(授業内容説明) 自己表現ワーク・「〇さん」について説明	0・1・2歳児の育ちの確認:乳児保育の教科書・ノート持参	30分
第2回 「〇さん」をグループ毎に紹介。グループの代表1~2名が全員の前で発表する。育ちの表やグループワークのコメントをもとに、「〇さん」の育ちについて見直し仕上げる	自分の思い描く〇さんの月齢の特徴(生理的特徴・運動発達・自我社会性・認知)を調べ記入してくる	60分
第3回 子どもの育ちと大人の関わりを考える:「離乳食から幼児食」 ミルクの作り方を知る(映像)・演習「ミルクの飲ませ方」	教科書P32~P63を読んでくる	30分
第4回 子どもの育ちと大人の関わりを考える:「離乳食から幼児食」 映像から子どもの育ちについてのグループワーク	食事介助で大切なことを3点まとめてくる	30分
第5回 子どもの育ちと大人の関わりを考える:「排泄・着脱を通して」 排泄の場面を映像で見る・演習:「おむつ交換」	教科書P70~P91を読んでくる	30分
第6回 子どもの育ちと大人の関わりを考える:「排泄を通して」 映像から子どもの育ちについてのグループワーク	排泄の場面で大人が大切にすることを3点まとめてくる	30分
第7回 子どもの育ちと大人の関わりを考える:「遊びの場面」 0歳児クラスの映像をみてグループワーク	育ちの表をみてくる	30分
第8回 子どもの育ちと大人の関わりを考える:「遊びの場面」 1~2歳児クラスの映像をみてグループワーク	育ちの表をみてくる	30分
第9回 子どもの育ちと大人の関わりを考える:「遊具」 遊具の写真と子どもの育ちとのつながりを理解する・わらべうた	育ちの表をみてくる	30分
第10回 「〇さん」の喜ぶ遊具作り	「〇さん」の喜ぶ遊具を考え準備してくる。	30分
第11回 手作り遊具を紹介する(作り方・遊び方等)	手作り遊具作成	30分
第12回 「乳児保育で大切なこと」まとめ作業 授業・実習から学んだこと・感じたこと具体的に書く	0.1.2歳児の身体と心の育ちと保育者として大切にすべきことのまとめ作業	30分
第13回 「乳児保育で大切なこと」まとめ発表・コメント記入	0.1.2歳児の身体と心の育ちと保育者として大切にすべきことのまとめ作業	30分
第14回 「乳児保育で大切なこと」まとめ発表・コメント記入	0.1.2歳児の身体と心の育ちと保育者として大切にすべきことのまとめ作業	30分
第15回 「乳児保育で大切なこと」まとめ発表・コメント記入	0.1.2歳児の身体と心の育ちと保育者として大切にすべきことのまとめ作業	30分
事前事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、実施しない。その他の評価配分は、以下のとおりである。 小テスト(レポート)の内容・発表 30%、「課題(〇さん・手作り遊具)」の提出・発表状況 30%、 演習授業・グループワークの積極的関与 30%、「その他総合的な面から評価 10%		
課題に対するフィードバック		
授業内プリント・まとめに関して具体的な評価・学習提案などを各自にフィードバックする。		
教科書・参考書		
教科書:鈴木八朗 編著 40のサインでわかる乳幼児の発達 黎明書房 その他、必要時視聴覚教材・最新情報や参考文献等のコピーを使用		